

令和8年度 会津若松市教育行政推進プラン

憧れ ・ 学び ・ 誇り
～ 凜としたあいづっこの育成 ～

あいづっこの宣言

一人をいたわります

二 ありがとうございます

ごめんなさいを言います

三 がまんをします

四 卑怯なふるまいをしません

五 会津を誇り 年上を敬います

六 夢に向かってがんばります

やっつてはならぬ

やらねばならぬ

ならぬことは

ならぬものです

会津若松市教育委員会

目次

	ページ
○ 教育行政推進プラン策定の趣旨	1
○ 政策・施策	2
○ 主要事業と重点的取組等	
〈政策分野〉	
・ 学校教育	3
・ 教育環境	11
・ 地域による子ども育成	16
・ 生涯学習	20
・ スポーツ	25
・ 歴史・文化	28
○ 教育費当初予算の状況	32

あこが
憧れ

憧れは、教育の原点であり

まな
学び

学びは、夢を実現させるためのものです。

ほこ
誇り

誇りを胸に、いきいきと輝くひとづくり
これが会津若松市の教育です。

教育行政推進プラン策定の趣旨

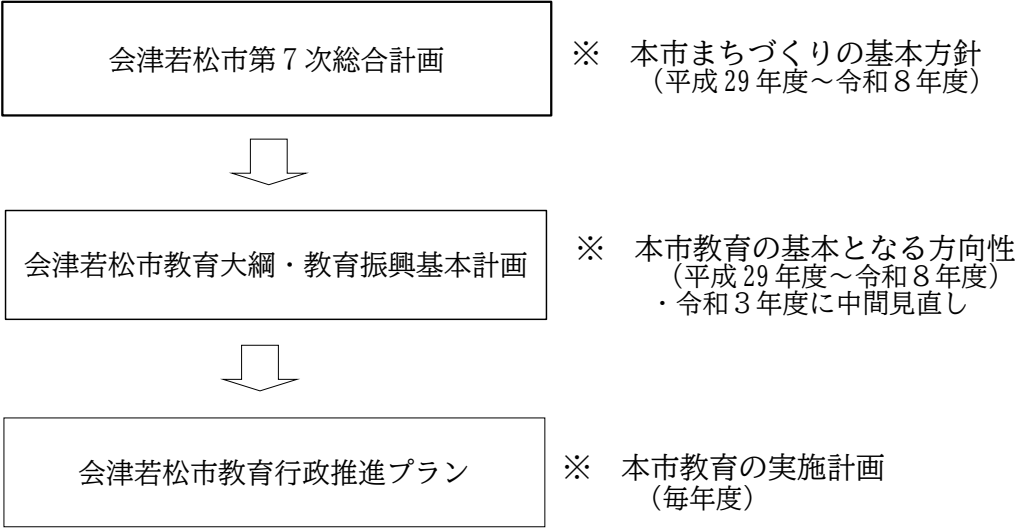
「まちづくりは人づくり」とも言われるように、本市が未来に向かって持続的に発展していくためには、次代を担う人材の育成が不可欠であり、教育行政は、その大きな役割を担っています。

その役割を果たすためには、確かな学力を育むことはもとより、先人たちが築き上げてきた会津の歴史や文化・伝統を学び、継承するとともに、「あいづっこ宣言」をより効果的に活用することで、誇りと自信を持って未来を生きることができると人づくりに取り組むことが重要と認識しています。

本市においては、平成29年4月からの「会津若松市第7次総合計画」に併せ、「会津若松市教育大綱・教育振興基本計画」を策定しましたが、この「会津若松市教育行政推進プラン」（以下「推進プラン」という。）は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の2を踏まえ、本市教育行政における年度ごとの実施計画と位置付け策定するものです。

教育委員会では、「憧れは、教育の原点であり、学びは、夢を実現させるためのもの。誇りを胸に、いきいきと輝くひとづくり（憧れ・学び・誇り～凜としたあいづっこの育成～）」をスローガンに掲げ、この推進プランに定める施策や各種事務事業を執行し、教育行政の一層の充実・発展に向けて取り組んでまいります。

【体系イメージ】



政策・施策

政策分野ごとの施策は次のとおりです。

【基本目標】 未来につなぐひとづくり

《政策1》 次代を創る子どもたちの育成

政策分野	施策
〈政策分野1〉 学校教育	(1) 確かな学力の育成
	(2) 豊かな心の育成
	(3) 健やかな体の育成
	(4) 特別支援教育の充実
〈政策分野2〉 教育環境	(1) 就学環境の充実
	(2) 学校環境の充実、整備
〈政策分野3〉 地域による子ども育成	(1) 子どもと子育て家庭を支える地域づくり
	(2) 青少年の健全育成

《政策2》 生涯にわたる学びと活躍の推進

政策分野	施策
〈政策分野4〉 生涯学習	(1) 生涯学習活動の支援
	(2) 読書活動の推進
	(3) 地域における社会教育の推進
〈政策分野5〉 スポーツ	(1) スポーツ機会の充実
	(2) スポーツ環境の充実
〈政策分野6〉 歴史・文化	(1) 地域の文化力を醸成する文化、芸術の振興
	(2) 地域の歴史・文化を育む環境づくり
	(3) 歴史資源・伝統文化の保存・継承

《政策1》 次代を創る子どもたちの育成

〈政策分野1〉 学校教育

【目指す姿】

学ぶ喜びや楽しさを実感しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく身に付けた子どもたちが育つまちを目指します。

（施策1）確かな学力の育成

子どもたちが、学力の基礎となる知識を確実に身に付け、それらを活用して課題を解決する力を育成します。加えて、子どもたちが学ぶ喜びや楽しさを実感し、主体的に学習に取り組む姿勢を養います。

また、「あいづっこ学力向上推進計画」に基づき、学校と家庭が連携して学力向上に取り組めます。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- | | | |
|---|-------------------------------|---------|
| 1 | あいづっこ学力向上推進事業／学校教育課／ | 5,275万円 |
| 2 | 外国語指導助手等活用事業／学校教育課／ | 4,102万円 |
| 3 | 複式学級非常勤講師の配置／学校教育課／ | 472万円 |
| 4 | 学校のあり方の検討
（学校運営協議会）／学校教育課／ | 201万円 |

【重点的取組】

① あいづっこ学力向上推進事業

・「あいづっこ学力向上推進計画」に基づき「児童生徒の「確かな学力」の向上を図る基盤づくり」、「グローバル教育の推進（ICTを活用した次世代の学校づくり）」、「学習意欲（チャレンジ精神）の向上」及び「学校・家庭・地域が一体となった推進体制の構築」の4つの視点から、多角的かつ総合的に学力向上の取組を実施していきます。

- ・全国学力・学習状況調査の結果を踏まえながら、本市独自の学力調査（チャレンジテスト）や民間の学力調査等を活用し、児童生徒の学力の実態を把握するとともに、効果的な指導改善を図るなど、学力向上の取組を推進します。

- ・「あいづっこ数学サポートティーチャー」のさらなる活用を図り、数学の基礎的・基本的な内容の理解・定着のための個別指導の充実を図り、学習へのチャレンジ意欲を高めていきます。

- ・自分の考えの整理等ができるソフト（思考ツール）を授業等で活用することにより、主体的・対話的で深い学びや協働的な学びの充実に取り組んでいきます。

- ・デジタルドリルを積極的に活用することにより、授業や家庭学習において個別最適な学習により、学力の定着を図っていきます。

② 外国語指導助手等活用事業

- ・令和2年度からの学習指導要領に基づき、小学校における外国語科、外国語活動へ対応するため外国語指導助手（ALT）の活用を図ります。

- ・小中連携を強化する観点から、中学校区ごとにALTを配置することにより、小学校から中学校への学びの接続を意識した授業を実施していきます。

- ・外国語科・外国語活動を担当する教員への研修を積極的に実施し、指導力の向上を図っていきます。

③ 複式学級非常勤講師の配置

- ・複式学級において、教師の直接的な指導を受ける時間を増やし、多くの授業が単式学級となるよう継続して非常勤講師を配置していきます。

④ 学校のあり方の検討

- ・本市における子どもの未来像について、教育行政課題や地域の意向を踏まえ、学校や地域の状況を把握しながら検討していきます。

- ・市立学校の設置に係る義務教育学校や小規模特認校制度等の導入など、学校規模の適正化等の様々な課題について、学校運営協議会からの意見等を踏まえ、魅力ある学校づくりの実現に向けて取り組んでいきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎全国学力・学習状況調査における全国と本市の比較値

項目	基準値 (平成28年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値				
小学6年生	98.4	103.6	104.3	105以上
中学3年生	95.0	99.8	100.4	101以上
実績値				
小学6年生	98.4	97.6	94.6	—
中学3年生	95.0	91.3	90.6	—

※1 全国平均を100とした際の本市の正答率の数値

※2 中学3年生には、義務教育学校9年生を含む。以下同じ。

※3 令和7年度の中学生の理科は、正答率ではなくIRTスコア（問題の難易度、解答状況から、より正確に推定した学力値）による公表のため、実績値から除く。

◎平日の家庭学習時間

項目	基準値 (平成28年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値				
小学6年生	73.9%	86.0%	88.0%	90%
中学3年生	26.2%	33.0%	47.0%	50%
実績値				
小学6年生	73.9%	67.8%	71.0%	—
中学3年生	26.2%	21.5%	23.4%	—

※1 小学校6年生は、1時間以上学習する児童の割合

※2 中学校3年生は、2時間以上学習する生徒の割合

◎各小・中学校への外国語指導助手年間訪問時間

項目	基準値 (平成28年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値				
小学3・4年生	各クラス —	各クラス 20時間	各クラス 20時間	各クラス 30時間
5・6年生	35時間	35時間	35時間	35時間
中学生 全学年	30時間	30時間	30時間	35時間
実績値				
小学3・4年生	各クラス —	各クラス 20時間	各クラス 20時間	—
5・6年生	35時間	35時間	35時間	—
中学生 全学年	30時間	30時間	30時間	—

(施策2) 豊かな心の育成

自分や他者を大切に作る心や自己肯定感を育み、「あいづっこ宣言」の精神を基盤とした規範意識を高めます。また、ふるさと会津に誇りと愛着をもち、たくましく生きる人材を育成します。

さらに、子どもたちの生命を守り、学校を安心して学べる場所とするため、学校、家庭、地域、関係機関、行政等の連携により、いじめや不登校などの未然防止、早期対応に取り組めます。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- 1 あいづっこ人材育成プロジェクト事業／学校教育課／ 547万円
- 2 教育支援・教育相談事業
（教員相談員及びスクールソーシャルワーカーの配置並びに学校スクリーニングの実施）／学校教育課／ 3,818万円
- 3 スクールカウンセラー等活用事業 /学校教育課/ 241万円

【重点的取組】

① あいづっこ人材育成プロジェクト事業

・児童生徒の豊かな心の育成を図るため、「映画から学ぶ」、「地域から学ぶ」、「あいづっこ黒板アートコンテスト」及び「まなべこツアー」の各事業を継続して実施していきます。

② 教育支援・教育相談事業

・いじめや不登校などの問題を抱える児童生徒及び保護者等から多岐にわたる相談が寄せられており、教育相談員の増員及びスクールソーシャルワーカーの勤務日数等の増加により、関係部局等との連携・協力をさらに深め、一層効果的な相談体制の充実を図っていきます。

・学校スクリーニングシステムの試行的な導入により、潜在的問題を抱える児童を早期に発見し、校内会議等を通じ適切な支援につなぐ仕組の構築に取り組んでいきます。

・学習用タブレット端末の活用を含め、不登校児童生徒の状況に応じた学習活動が行われるよう取り組んでいきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎学校が好きな児童生徒の割合

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	86%	93%	97%	100%
実績値	86%	88%	86%	—

◎小・中学校における不登校の出現率

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	1.6%	3.5%	3.5%	0.8%
実績値	1.6%	4.3%	4.6%	—

(施策3) 健やかな体の育成

子どもたちが運動の楽しさや喜びを実感できる機会をつくり、心身の健康の保持増進による健やかな子どもの育成を図ります。

また、安全安心な学校給食の提供及び食育の推進を図ります。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

1	プール代替事業	／学校教育課・学校施設給食課／	1,447万円
2	部活動運営体制構築事業 （部活動指導員の配置）	／学校教育課	576万円
3	地域運動部活動推進事業	／学校教育課	1,810万円
4	地域文化部活動推進事業	／学校教育課	217万円
5	学校給食食材購入費	／学校施設給食課	6億4,228万円

【重点的取組】

- ① 安全・安心な水泳授業の実施
 - ・市立学校プールの老朽化の状況や、今後の維持管理の費用対効果、民間施設等のプールを活用した代替プール利用に関する「市立学校プール対応方針」を策定しました。この方針に基づき、児童生徒が安全・安心に水泳授業を受けることができる環境を整備するとともに、充実した水泳授業を受けられる教育環境の確保に努めます。
- ② 学校保健・体育活動の支援
 - ・心身ともに健康な児童生徒の育成を図るため、学校保健安全法に基づき、児童生徒及び教職員の保健管理への取組を継続していきます。
- ③ 持続可能な部活動運営体制の構築
 - ・「市部活動に関する方針」に基づき、平日における部活動の指導体制の充実を図るため、引き続き9名の部活動指導員を配置していきます。
 - ・休日における部活動を地域での活動に完全移行し、学校、地域、関係団体との協働により、「地域総ぐるみで子どもを育てる」環境づくりをさらに進めていきます。
 - ・運動部は、中学校で実施する部活動全14種目を対象とし、教育委員会に配置する部活動コーディネーターが、関係団体との連絡調整を行うなど、連携のもと取組を推

進していきます。文化部は、合唱及び吹奏楽を対象とし、関係団体の協力を得ながら、地域の指導者を確保し、持続可能な活動体制を整備していきます。

- ・地域移行の取組により、学校の枠を越え、関係団体と連携しながら活動し、生徒の技術の向上を図るとともに、生徒の自主性、協調性、連帯感及び社会性の形成を図っていきます。

④ 学校給食の充実

- ・安全・安心な給食提供を継続するため、老朽化している給食施設の設備について、計画的な修繕や更新に努めます。

- ・将来の必要食数を見据え、給食施設の集約化や既存の給食センターにおける受配校の見直しなど、再編の考え方や課題等について整理するとともに、新たな給食施設の整備を含め、効率的で効果的な管理運営方法の検討を行っていきます。

- ・国や県の交付金を活用し、小学校の給食費無償化を実施します。

また、中学校の給食費については、引き続き、物価高騰分を市が支援することで、保護者の負担軽減を図ります。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎全国体力・運動能力、運動習慣等調査における全国と本市の比較値

項目	基準値 (平成28年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値				
小学5年生	102.5	104.6	104.8	105以上
中学2年生	97.9	101.5	99.8	100以上
実績値				
小学5年生	102.5	103.3	102.9	—
中学2年生	97.9	100.5	98.2	—

※ 握力、50m走、反復横とび等の得点を合計した数値で、全国平均を100とした際の本市の数値

(施策4) 特別支援教育の充実

特別な支援を必要とする子どもたち一人ひとりに寄り添った、きめ細かな支援及び環境整備を行い、学びを通して自立や社会参加に必要な力を育みます。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

1	特別支援教育支援員事業 （特別支援教育支援員の配置等）	／学校教育課／	1億3,459万円
2	教育支援・教育相談事業 （教育相談員の配置等）	／学校教育課／	3,818万円
3	医療的ケア児支援事業	／学校教育課／	1,426万円

【重点的取組】

① 特別支援教育

・教育上特別な配慮を必要とする児童生徒について、専門的な知識を有する者で構成する教育支援委員会による調査や相談により、専門的な判断のもと、適正な就学先の選択を支援していきます。

・特別支援教育支援員を36名から37名に1名増員し、個別の教育的ニーズに的確に応える多様で柔軟な仕組みを整備し、インクルーシブ教育の推進を図っていきます。

② 医療的ケア児支援

・受け入れる医療的ケア児の状況を踏まえ、学校看護師や訪問看護師、医療的ケア児特別支援員を配置し、個別の支援の充実を図っていきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎特別支援教育支援員配置校の割合

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	60%	97%	97%	100%
実績値	60%	93%	97%	—

〈政策分野2〉教育環境

【目指す姿】

すべての子どもたちが、等しく教育を受け、安全で安心して学校生活を送れる環境が整ったまちを目指します。

（施策1）就学環境の充実

子どもたちが等しく義務教育を受けることができるようにするため、経済的理由や通学環境などから、児童及び生徒の就学に支障をきたす状況にある保護者などに対して必要な援助を行います。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

1	就学援助費	／学校教育課／	7,522万円
2	スクールバス運行事業	／教育総務課／	1億4,050万円
3	遠距離通学助成事業	／教育総務課／	34万円

【重点的取組】

① 就学援助

・社会状況の変化を見極めながら、義務教育の円滑な実施に向け、援助を必要とする児童生徒の保護者に対し、適切に就学援助が実施されるよう周知徹底を図っていきます。また、対象とする費目について、調査・研究を継続していきます。

② 通学支援

・スクールバスの運行については、毎年度、対象児童生徒にあわせ、コースや乗降所を設定し適切な運行に努めていきます。

また、遠距離通学支援については、本年度より小規模特認校制度を利用する児童生徒の保護者に対し、遠距離通学助成を実施するとともに、引き続き、児童生徒の通学実態や地域の公共交通状況等を踏まえた支援のあり方を検討していきます

③ 奨学資金給与

- ・本制度を必要とする生徒保護者が申請できるよう、引き続き中学校、高等学校と連携し、保護者連絡ツール等を活用した積極的な情報発信を行い、本制度の定着を図っていきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎要保護・準要保護認定者の小・中・義務教育学校の児童生徒数に対する周知率

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%	100%	—

(施策2) 学校環境の充実、整備

子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、計画的な学校施設の耐震化を進め、さらに、予防保全の視点から施設や設備の適切な維持管理や改修を進めます。

学校屋内運動場については、児童生徒の熱中症対策及び災害時の避難所としての環境改善を図るため、空調設備整備に向けた整備方針を策定します。

義務教育学校湊学園については、前期課程と後期課程の施設を一体化する改修に係る設計を行います。

また、新学習指導要領や各学校の特色、教育目標、教育課題等に対応した適切な教材や図書及び「市教育ICT推進プラン」に基づいた教育ICT環境の整備を進めます。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

1	学校施設耐震化事業	／学校施設給食課／	95万円
2	学校維持管理事業	／学校施設給食課／	8億3,265万円
3	城西小学校校舎南棟長寿命化事業（継続費）	／学校施設給食課／	9,082万円
4	学校屋内運動場空調設備整備事業	／学校施設給食課／	1,084万円
5	湊学園施設一体化整備事業	／学校施設給食課／	766万円
6	教育ICT環境推進事業	／学校教育課	／ 6億446万円

【重点的取組】

- ① 学校施設の耐震性の確保
 - ・構造体の耐震化は全て完了したことから、引き続き、屋内運動場の窓ガラスの飛散防止フィルム貼付による補強を計画的に行い、非構造部材の耐震化に取り組みます。

- ② 学校施設の適切な維持管理
 - ・学校施設の老朽化対策と教育環境の向上を計画的に進めるため、学校の個別施設計画を策定します。
 - ・城西小学校や第六中学校の校舎外壁の改修工事に着手するなど、児童・生徒等の安全安心及び学校施設の長寿命化（予防保全）の観点から、年次計画に基づき改修を行います。

また、川南小学校校舎や第一中学校校舎等の照明器具についても、引き続き計画的にLED化への改修を進めます。

③ 学校屋内運動場への空調設備整備

・児童生徒の熱中症対策及び災害時の避難所としての環境改善を図るため、学校屋内運動場の空調設備の整備に向けた整備方針の策定を行います。

④ 義務教育学校湊学園の前期課程及び後期課程施設の一体化

・義務教育学校の特徴を生かした教育活動を更に推進することができる環境を整備するため、湊学園の前期課程施設と後期課程施設を一体化する改修に係る設計を行います。

⑤ 教育ICT環境推進事業

・「市教育ICT推進プラン」に基づき、計画的に教育ICT環境の整備・更新を進めていくとともに、統合型校務支援システムの運用や学校でのICT活用を支援する体制の充実にも取り組んでいきます。

・更新時期を迎えたタブレット端末について、国の補助の活用を前提として令和8年度に県の共同調達による入替を行います。

【主たる事業の指標及び目標値】

① 学校施設耐震化事業

◎窓ガラスの飛散防止フィルムの貼付及びバスケットゴール耐震化済の体育館棟数

項目	基準値 (令和3年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	11棟	24棟	27棟	30棟
実績値	11棟	24棟	27棟	—

② 大型提示装置の普通教室への整備

項 目		基準値 (令和3年度)	計画値 (令和6年度)	目標値 (※令和6年度)
大型提示装置の 整備(小学校)	普通学級及び 特別支援学級用 (各学級1台ずつ)	138台/260学級 53.1%	261台/261学級 100.0%	261台/261学級 100.0%
	その他教室用 (各学校1台ずつ)	—	19台/19校 100.0%	19台/19校 100.0%
	小学校計	138台/260台 53.1%	280台/280台 100.0%	280台/280台 100.0%
大型提示装置の 整備(中学校)	普通学級及び 特別支援学級用 (各学級1台ずつ)	68台/116学級 58.6%	110台/110学級 100.0%	110台/110学級 100.0%
	その他教室用 (各学校1台ずつ)	—	11台/11校 100.0%	11台/11校 100.0%
	中学校計	68台/116学級 58.6%	121台/121台 100.0%	121台/121台 100.0%
計		206台/376台 54.8%	401台/401台 100.0%	401台/401台 100.0%

※ 大型提示装置は、令和4年度から令和6年度までの期間で整備する計画のため、目標値の年度を令和6年度とする。

※ 小学校、中学校には、それぞれ義務教育学校の前期課程、後期課程を含む。

※ 「その他教室用」は、令和6年度から整備する方針を定めたため、令和3年度時点では整備目標を定めていない。

※ 令和6年度の川南小、北会津中の特別支援学級数は0であるが、以降の年度で新設される可能性を考慮し、両校とも1学級があるものとして学級数を算出。

〈政策分野3〉地域による子ども育成

【目指す姿】

地域社会全体で子どもたちを育み、子どもたちが社会的、精神的に成長するまちを目指します。

（施策1）子どもと子育て家庭を支える地域づくり

地域社会の中で安心して子育てができ、一人ひとりの子どもたちが健やかに成長することができるよう、地域で子育てを支える意識づくりや交流機会の創出等を推進します。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- | | | | |
|---|-------------|--------------------|---------|
| 1 | 地域学校協働本部事業 | ／生涯学習総合センター・地区公民館／ | 1,466万円 |
| 2 | 子ども読書活動推進事業 | ／生涯学習総合センター | ／ 304万円 |

【重点的取組】

- ① 地域学校協働本部事業（地域学校協働活動・放課後子ども教室）の推進
 - ・小・中・義務教育学校に学校運営協議会（コミュニティスクール）が設置されたことから、地域学校協働活動推進員等がその委員となり、学校運営に係る支援を協議して活動を推進します。
 - ・地域学校協働本部と学校運営協議会（コミュニティスクール）が一体となって機能することが求められており、活動の様子を周知・広報し、地域の中で子どもを育む取組として、多くの人に主体的に参画いただけるよう、地域学校協働本部事業の体制の充実に努めます。
- ② 地域や家庭における読書の推進
 - ・第四次市子ども読書活動推進計画に基づき、園や学校、図書館等が家庭やボランティア、その他関係団体と連携・協力しながら子どもの読書活動を推進します。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎放課後子ども教室利用児童の割合

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	4.8%	10.4%	10.2%	10%
実績値	4.8%	10.2%	10.8%	—

◎子ども（18歳まで）の会津図書館館外貸出登録者の割合

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	36%	45.8%	46.9%	45%
実績値	36%	46.9%	48.1%	—

（施策2）青少年の健全育成

會津藩校日新館の教えである「ならぬことはならぬ」に代表される会津の精神を踏まえ、て策定した「青少年の心を育てる市民行動プラン“あいづっこ宣言”」を青少年健全育成の柱とし、地域ぐるみで青少年を育みます。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

1	青少年の心を育てる市民行動プラン事業	／教育総務課／	73万円
2	少年センター運営事業	／教育総務課／	306万円
3	青少年健全育成事業	／教育総務課／	555万円

【重点的取組】

① 青少年の心を育てる市民行動プラン事業

・“あいづっこ宣言”の規範意識の定着と実践を図る取り組みの一環として、学校の協力のもと、新入学児童を対象としたあいづっこ宣言の暗唱及び暗唱合格証を授与するとともに、中学生を対象に「あいづっこ宣言ポケット版リーフレット」に生徒自身が特に頑張りたい行動目標を選択し、実践・行動する取組みを展開している。また、地域や家庭などあらゆる場面で大人自らが宣言を実践することで、子どもたちの良い手本となり青少年の健全育成につながるため、市青少年育成市民会議、関係機関や学校との連携のもと、あいづっこ宣言の実践化を図っていきます。

また、民間企業との連携を継続するとともに、宣言の紹介動画やパンフレットなどの広報ツールを積極的に活用し、あいづっこ宣言が目指す価値観や行動指針への理解を深めてもらえるよう取り組んでまいります。

② 少年の非行防止

・少年の非行を防止するため、関係機関との連携を基盤として、地域に密着した補導活動を行ってまいります。『あいづっこ青色パトロール（公用車）』での見せる補導や「あいべあ」での補導員への情報提供、研修会の開催により補導活動の充実を図り、少年非行と犯罪被害を未然に防ぐ抑止力としての取り組みを継続してまいります。

③ 青少年健全育成事業

・近年、少子化や情報化の進展などにより、青少年を取り巻く環境が一層複雑・多様

化する中、青少年が健やかに成長し、社会の一員として自立していけるよう、家庭、学校、地域、企業、関係団体などとの連携を強化し、地域全体で青少年の健全育成を推進していきます。

また、子ども会育成会連絡協議会との連携を図り、さらに魅力ある事業の実施と効果的な周知を行い、子ども会加入促進を図り、自主的な活動の支援を継続してまいります。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎非行少年の割合（1,000人あたり）

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	2.4人	2.0人	1.9人	1.8人
実績値	2.4人	3.9人	4.2人	—

《政策2》 生涯にわたる学びと活躍の推進

〈政策分野4〉生涯学習

【目指す姿】

誰もが生涯にわたって学び、活躍でき、地域社会の中で輝いているまちを目指します。

（施策1）生涯学習活動の支援

知の循環型社会の構築を目指して、生涯にわたる学びを支援し、学びの成果を地域社会に還元できる人材の育成を推進します。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- | | | | |
|---|------------------|--------------|-----------|
| 1 | 生涯学習推進事業 | ／生涯学習総合センター／ | 266万円 |
| 2 | 生涯学習総合センター管理運営事業 | ／生涯学習総合センター／ | 2億4,832万円 |

【重点的取組】

① 学習活動の支援・育成

・今後、ますます高度化・多様化する市民の学習意欲に応じていくために、市民ニーズの的確な把握に努めながら、教育機関や外部団体などと連携した、生涯学習のネットワークを活用し、魅力ある内容や幅広い年齢層に対応した講座の実施に努めます。

また、ICTを活用した講座運営に取り組み、デジタル社会に対応した学習機会の提供に努めます。

② 地域コミュニティの活性化

・公民館が地域コミュニティの拠点として、地域住民が地域の問題に主体的にかつ連携・協力して取り組むことが必要であるため、講座の開催や生涯学習相談コーナーの設置などにより、学習情報や学習機会の提供支援を行い、地域コミュニティの活性化に努めます。

③ 生涯学習総合センターの管理運営

・利用者の意見や要望などを踏まえ、公民館と図書館、ホール・ギャラリーを備えた複合型施設として、利用しやすく、快適な学習環境を整えるとともに、利用者の安心安全な利用に支障がないよう適切な管理運営に努めます。

・公共施設保全計画に基づき、優先順位をつけながら必要な改修等を行い、施設設備の長寿命化に努めます。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎公民館講座に参加している市民の割合

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	31.3%	34.5%	34.8%	35.0%
実績値	31.3%	38.0%	40.0%	—

◎生涯学習出前講座実施回数

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	167回	100回	160回	200回
実績値	167回	155回	190回	—

◎生涯学習支援者講座毎年度累計受講者数

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	7人	185人	210人	100人
実績値(累計)	7人	196人	223人	—

◎生涯学習総合センター入館者数

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	573,398人	480,000人	480,000人	600,000人
実績値	573,398人	473,473人	481,823人	—

(施策2) 読書活動の推進

図書館を拠点として、市民が求める資料の充実やサービスの提供に努め、生涯にわたり文化的・創造的な生活ができるよう読書活動を推進します。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- | | | | |
|---|-------------|--------------|-----------|
| 1 | 生涯学習推進事業 | ／生涯学習総合センター／ | 266万円（再掲） |
| 2 | 生涯学習情報提供事業 | ／生涯学習総合センター／ | 4,250万円 |
| 3 | 子ども読書活動推進事業 | ／生涯学習総合センター／ | 304万円（再掲） |

【重点的取組】

① 図書資料等の充実

・市民の要望に応えながら、魅力ある図書資料等の購入や郷土資料・行政資料の収集を図り、乳幼児から高齢者まで幅広い層を対象とした図書資料等の整備に努めます。

② 図書館サービスの提供

・貴重資料の保存に努め、丁寧なレファレンス業務に取り組むとともに、会津若松市デジタルアーカイブのコンテンツやデジタルデータベースの充実、障がい者等サービスの提供を行い、図書館サービスのさらなる向上に努めます。

③ 読書環境の整備・支援

・読み聞かせボランティアや学校図書館ボランティアを養成するとともに、乳幼児から小学生を対象とした読み聞かせ活動をボランティアと協働で実施するなど読書に関わる人材の確保に努めます。

・学校図書館の環境整備支援や移動図書館（あいづね号）の巡回などにより、読書環境の充実を図ります。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎会津図書館における1日当りの貸出冊数

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	1,657冊	1,400冊	1,400冊	1,670冊
実績値	1,657冊	1,310冊	1,174冊	—

（施策3）地域における社会教育の推進

各公民館を地域の学習・活動の拠点として、住民が主体的に地域課題に取り組んでいくための環境づくりなど、地域に根ざした社会教育の推進により、地域コミュニティの活性化を図ります。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- 1 各地区公民館事業 / 地区公民館 / 383万円
- 2 各地区公民館管理運営事業 / 地区公民館 / 1億7,227万円

【重点的取組】

① 地域コミュニティの活性化

・地域コミュニティを活性化させていくためには、地域住民の主体的な連携、協力が必要であり、それぞれの地区公民館において、地域の実情に応じた環境づくりに努めます。

・地区公民館においては、地域住民との協働による地域コミュニティの拠点としての役割も求められており、各地域の実情に応じて、地域の活性化に取り組みます。

② 地区公民館の管理運営

・地区公民館の多くは、築30年以上が経過しており、経年劣化による施設の破損や設備の故障に対し、一時的な経費の負担増が見込まれる。公民館の適切な維持管理を行いながら、公共施設等総合管理計画や耐震診断結果等を踏まえ、計画的な保全・整備に努めます。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎住民参画事業の実施館数

項 目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	1館	7館	7館	9館
実績値	1館	6館	7館	—

〈政策分野5〉スポーツ

【目指す姿】

いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも、スポーツを楽しむことができるまちを目指します。

（施策1）スポーツ機会の充実

「するスポーツ」「観るスポーツ」「支えるスポーツ」といった「市民総スポーツ」を推奨し、各種市民スポーツ大会の開催など、子どもから高齢者までの誰もがスポーツに親しめる機会の充実を図ります。また、会津若松市スポーツ協会や会津若松市スポーツ推進委員等と連携し、地域や学校などで活躍できるスポーツ指導者の発掘と育成の推進に努めます。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- | | | |
|---------------------------|----------|----------|
| 1 「する」「観る」「支える」スポーツ人口創出事業 | ／文化スポーツ課 | ／ 93万円 |
| 2 鶴ヶ城ハーフマラソン大会事業 | ／文化スポーツ課 | ／1,100万円 |
| 3 東北総合スポーツ大会事業 | ／文化スポーツ課 | ／ 120万円 |

【重点的取組】

① 「する」「観る」「支える」スポーツ人口の創出

・各種市民スポーツ大会（地域スポーツ大会北会津方部大会、市民水泳大会、市民スポーツ祭、市民スキー大会）等を通して、競技を自ら「する」人、応援して「観る」人、大会の運営を「支える」人が、それぞれの関わり方でスポーツを楽しむとともに、市民の体力の維持向上・健康増進やスポーツによる世代間・地域間交流の促進を図ります。さらには、地域密着型スポーツ団体のホームゲーム開催等を支援し、観戦機会を提供するなど、「観る」スポーツに関わる機会の創出を通してスポーツ活動に参画する機運の醸成を図ります。

② 鶴ヶ城ハーフマラソン大会

・地域内外から多くの参加をいただく鶴ヶ城ハーフマラソン大会については、大会を安全安心に運営し、全国規模のスポーツイベントとして市民協働によるホスピタリティの充実を図りながら、本市並びに会津の魅力を発信していきます。

③ 東北総合スポーツ大会事業

・国民スポーツ大会の予選会として開催されている「東北総合スポーツ大会」について、令和8年度は、6年に一度の福島県での開催となり、本市においては、テニス、ボクシング、ソフトテニス、なぎなたの4競技の実施が予定されていることから、開催地として円滑な競技運営を支援します。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎鶴ヶ城ハーフマラソン大会参加者数

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	6,106人	7,500人	8,000人	8,000人
実績値	6,106人	8,036人	8,065人	—

(施策2) スポーツ環境の充実

市民が、安全に安心して、生涯にわたり、いつでも、どこでも、誰でも、いつまでもスポーツに親しみ、健康・体力づくりのできる環境の整備を目指します。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

1	市民スポーツ施設管理事業	／文化スポーツ課／	5,917万円
2	河東総合体育館空調設備整備事業	／文化スポーツ課／	360万円
3	コミュニティプール管理事業	／文化スポーツ課／	3,908万円
4	学校体育施設開放事業	／文化スポーツ課／	179万円

【重点的取組】

① スポーツ施設環境の整備

・指定管理者と連携し、市民スポーツ施設（市民ふれあいスポーツ広場、河東地区スポーツ施設、小松原多目的運動場）及びコミュニティプールの適切な維持管理に努め、市民のスポーツ人口の拡大並びに健康増進に努めるとともに、老朽化に伴う損傷・故障等については、計画的に修繕・改修工事等を実施していきます。

さらには、熱中症予防対策として移動式気化熱冷風機を導入するとともに、より冷却能力が高い空調設備を整備していきます。

② 学校体育施設開放の推進

・身近なスポーツ施設として小・中・義務教育学校体育施設の利用促進と有効活用を図り、学校教育に支障のない範囲で広く市民の方々にスポーツを楽しむ場として提供し、地域スポーツの普及を推進していきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎スポーツ施設の利用者数（年間延べ人数）

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	1,008,458人	1,038,000人	1,044,000人	1,050,000人
実績値	1,008,458人	755,490人	792,078人	—

〈政策分野6〉 歴史・文化

【 目指す姿 】

文化芸術に親しむ機会にあふれ、本市の豊かな歴史資源の継承のもと、文化や歴史の魅力が世界に発信されているまちを目指します。

（施策1）地域の文化力を醸成する文化、芸術の振興

地域の特色を活かした文化芸術事業や文化祭などの開催を支援します。

また、質の高い文化芸術に触れる機会を充実し、地域の文化力の向上と市民が主体となった芸術文化活動の促進を図ります。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- | | | | |
|---|--------------------|-----------|-------|
| 1 | 文化振興事業 | ／文化スポーツ課／ | 245万円 |
| 2 | あいづまちなかアートプロジェクト事業 | ／文化スポーツ課／ | 500万円 |
| 3 | 早乙女貢文化振興基金記念事業 | ／文化スポーツ課／ | 200万円 |

【重点的取組】

① 地域の主体的な参加

・市民文化祭及びあいづまちなかアートプロジェクトなどの文化振興事業は、市民一人ひとりの潤いのある生活や、豊かなまちづくりを目的としていることから、市民がより主体的に参加できるよう、関係者とともにより事業の方向性や内容などについて協議してまいります。

② 早乙女貢文化振興基金記念事業

・令和5年度に設立した早乙女貢文化振興基金を活用した事業について、早乙女貢氏の功績を称えながら、内容のさらなる充実を検討してまいります。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎あいづまちなかアートプロジェクト参加者満足度（令和3年度から満足度の調査開始）

項目	基準値 (令和3年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	80%	82%	84%	85%
実績値	80%	83.7%	77.2%	—

（施策2）地域の歴史・文化を育む環境づくり

誰もが気軽に地域の歴史や文化に触れ、学ぶことができる機会を創出します。

また、歴史と文化が薫るまちを目指し、市民が活動しやすい環境づくりを行います。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- | | | | |
|---|----------------|-----------|-----------|
| 1 | 會津風雅堂管理事業 | ／文化スポーツ課／ | 1億5,801万円 |
| 2 | 文化センター管理事業 | ／文化スポーツ課／ | 6,970万円 |
| 3 | 歴史資料センター管理運営事業 | ／文化スポーツ課／ | 1,942万円 |
| 4 | 収蔵美術作品管理活用事業 | ／文化スポーツ課／ | 252万円 |

【重点的取組】

① 文化施設等の適切な管理、整備及び活用

・文化施設及び歴史資料センターは施設が老朽化していることから、改修を含め施設・設備のあり方を検討する必要があります。

・小学校と連携した郷土の歴史を学ぶことができる「まなべこツアー」の開催や、歴史資料センター「まなべこ」での資料展示や各種講座の継続により、子どもから大人まで広く郷土理解の促進を図ります。

② 収蔵美術作品の管理と活用

・収蔵美術作品の適切な管理と一層の活用に向けて検討を進めてまいります。

・デジタル化した収蔵美術作品データのさらなる活用を図ります。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎文化施設鑑賞・利用者数

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	229,423人	166,000人	190,000人	230,000人
実績値	229,423人	135,830人	143,158人	—

◎歴史文化講座参加者数

項目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	243人	340人	350人	360人
実績値	243人	227人	284人	—

【施策3】歴史資源・伝統文化の保存・継承

文化財をはじめとする本市の貴重な歴史資源や伝統文化を後世に継承する取組を進めながら、情報発信や公開などにより、郷土の歴史や文化の理解促進を図ります。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

1 御薬園整備事業	／文化スポーツ課／	1,532万円
2 院内御廟保存整備事業	／文化スポーツ課／	881万円
3 県立病院跡地発掘調査事業	／文化スポーツ課／	1億4,989万円
4 文化財保存活用地域計画推進事業	／文化スポーツ課／	626万円

【重点的取組】

① 文化財の保存・整備・活用

- ・文化財保存・継承に向け、所有者や地域との連携や広く文化財に対する意識醸成に向けた取組を継続します。

- ・指定文化財等の環境整備については、地区等への委託による支障木伐採や除草清掃

を継続して行うとともに国指定文化財等については、補助制度等を活用し、所有者の費用負担軽減を図ります。

・御薬園・院内御廟・赤井谷地沼野植物群落については、指導会議での指導を受けながら保存整備を進めていきます。

・院内御廟については、新たな保存活用計画を策定し、史跡の長期的な保存・活用を図ります。

② 埋蔵文化財の調査・保護の充実

・開発に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼件数が増加していることから、民間委託のさ
らなる活用などにより円滑に調査を進めます。

・「文化財だより」や「出前講座」により、文化財に対する保護意識の高揚を図りま
す。

③ 歴史文化の継承のための機会の創出

・院内御廟や赤井谷地、若松城跡等について、現地での見学会や歴史文化講座を行う
など、市民の文化財に対する理解促進に向けた、積極的な文化財の活用を図ります。

・文化財保存活用地域計画に基づき、地域ぐるみでの歴史文化の保存・活用に向けた
取組を進めるとともに、第2期計画を策定します。

【主たる事業の指標及び目標値】

◎御薬園入園者数

項 目	基準値 (平成27年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終)
目標値	53,908人	57,000人	57,000人	60,000人
実績値	53,908人	47,289人	47,869人	—

〔参考〕教育費当初予算の状況

令和8年度 教育費

(単位：千円)

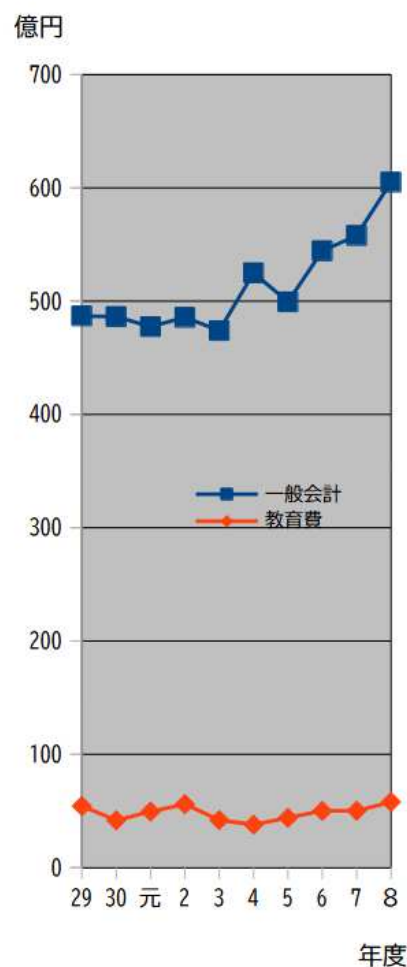
予算科目(項・目)	当初予算額	予算科目(項・目)	当初予算額
1 教育総務費	2,083,809	4 社会教育費	886,079
(1) 教育委員会費	4,657	(1) 生涯学習推進費	446,859
(2) 事務局費	461,798	(2) 公民館費	409,041
(3) 指導研究費	367,855	(3) 青少年育成費	30,179
(4) 学校給食費	1,249,499	5 文化費	713,152
2 小学校費	1,275,575	(1) 文化振興費	120,098
(1) 学校管理費	707,373	(2) 文化財保護費	345,086
(2) 教育振興費	568,202	(3) 文化施設費	247,968
3 中学校費	653,738	6 保健体育費	181,855
(1) 学校管理費	340,340	教育費 合計	5,794,208
(2) 教育振興費	313,398	※幼稚園費を除く	

一般会計と教育費の当初予算額推移

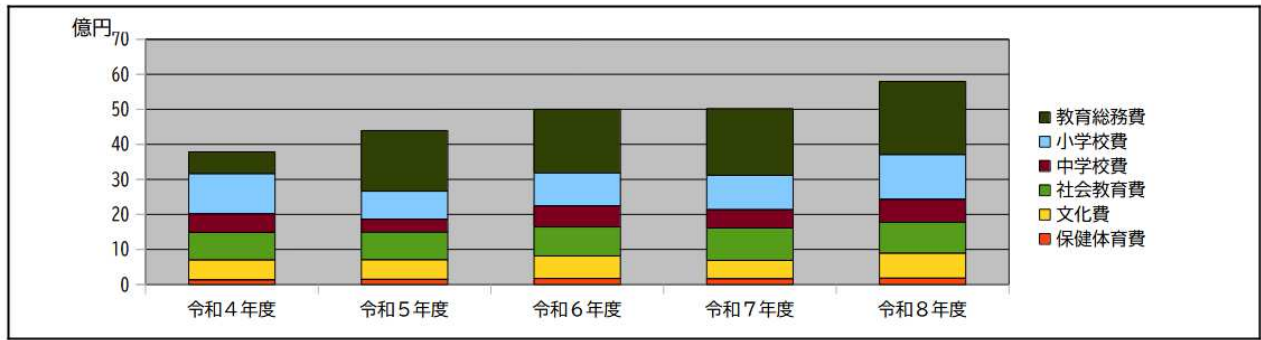
(単位：千円、%)

年度	一般会計	教育費	一般会計 に対する 割合
平成29年度	48,687,000	5,424,202	11.1
30	48,625,000	4,171,401	8.6
令和元年度	47,742,000	4,936,000	10.3
2	48,559,000	5,590,318	11.5
3	47,393,000	4,192,416	8.8
4	52,488,000	3,785,063	7.2
5	49,937,000	4,393,096	8.8
6	54,435,000	5,000,144	9.2
7	55,787,000	5,017,091	9.0
8	60,495,000	5,794,208	9.6

※幼稚園費を除く



当初予算（教育費）の推移 ※幼稚園費を除く



(単位：千円)

予算科目(項)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1.教育総務費	618,574	1,728,508	1,810,826	1,899,903	2,083,809
2.小学校費	1,149,344	799,663	943,903	979,540	1,275,575
3.中学校費	528,857	367,001	601,514	526,147	653,738
4.社会教育費	784,283	791,484	825,806	920,091	886,079
5.文化費	571,040	558,004	647,215	524,875	713,152
6.保健体育費	132,965	148,436	170,880	166,535	181,855
教育費 計(幼稚園費を除く)	3,785,063	4,393,096	5,000,144	5,017,091	5,794,208

■教育費の主な増減要因

(単位：千円)

事業名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1.教育総務費					
○指導研究に要する経費	89,555	90,654	114,962	133,479	145,723
○あいづっこ学力向上推進事業費	22,028	22,227	42,255	50,535	52,746
○地域運動部活動推進事業費	-	15,494	12,995	16,639	18,100
○地域文化部活動推進事業費	-	-	2,795	1,172	2,168
○水泳授業に要する経費	-	-	5,228	14,447	14,461
○学校給食費(10.1.4)	29,586	1,076,218	1,083,811	1,120,043	1,249,499
2.小学校費					
○学校維持管理費	399,408	460,377	585,561	620,092	540,036
○学校施設耐震化事業費	※R3補正(繰越)	※R4補正(繰越)	※R5補正(繰越)	※R6補正(繰越)	445
○学校屋内運動場空調設備整備事業費	-	-	-	-	7,405
○城西小学校校舎南棟長寿命化事業費	-	-	-	-	90,818
○教育ICT環境推進事業費	91,569	99,668	94,324	99,400	393,437
3.中学校費					
○学校維持管理費	160,044	189,913	413,500	335,370	292,336
○学校施設耐震化事業費	※R3補正(繰越)	※R4補正(繰越)	※R5補正(繰越)	※R6補正(繰越)	499
○学校屋内運動場空調設備整備事業費	-	-	-	-	3,483
○教育ICT環境推進事業費	60,084	44,814	51,631	56,090	211,014
4.社会教育費					
○生涯学習情報提供事業費	39,742	40,717	42,831	41,940	42,496
○子ども読書活動推進事業費	2,942	2,974	3,165	3,266	3,040
○成人祝賀事業費	2,654	2,814	2,674	2,932	3,226
5.文化費					
○早乙女貢文化振興基金記念事業費	-	-	1,651	10,233	2,000
○御薬園整備事業費	9,502	4,718	4,560	5,181	15,317
○院内御廟保存整備事業費	3,794	1,454	1,851	9,281	8,803
○文化財保存活用地域計画推進事業費	1,056	233	74	175	6,265
○県立病院跡地発掘調査事業費	-	-	74,231	1,012	149,881
○文化センター管理費	42,026	40,901	46,170	45,661	69,698
○會津風雅堂管理費	180,216	163,922	167,857	161,620	158,006
6.保健体育費					
○鶴ヶ城ハーフマラソン大会事業費	5,000	6,000	11,000	11,000	11,000
○市民スポーツ施設管理費	40,053	39,970	46,697	42,524	59,163